

トヨタ・スピーディ・ダッシュの使用方
法

少しずつ塗布しながら、別の柔らかい布
かハンド・モップでみがきあげます。

《注意》

1. 塗装面が熱いときは、車を日陰に移し、体温以下になってから、ワックスをかけを行なってください。
2. トヨタ・スピーディ・ダッシュは早く仕上げることができますが、トヨタ・オート・ワックスにくらべて、ワックス分が早くなります。
3. 落ちにくい水垢、ピッチ、タールなどが付着しているときは、トヨタ・オート・ワックス・クリーナーをご使用ください。
4. 軽いほこりなどは、毛ばたき、またはモッパーですり傷を付けないように、軽く取りさってください。
5. ほこりが取りにくいときには、帯電防止剤入りのワックスを、ご使用ください。

常時携行品とアクセサリ

CORONA *MARK II 1900* HARDTOP GSS

■常時携行品のご紹介

お車をご使用になるときは、万一の故障に備え次のものを常時携行なさるようお勧めいたします。ご購入の時は、コロナ MARK II 1900 ハードトップ GSS 取扱店の部品部に用意しておりますので、お気軽にご相談ください。

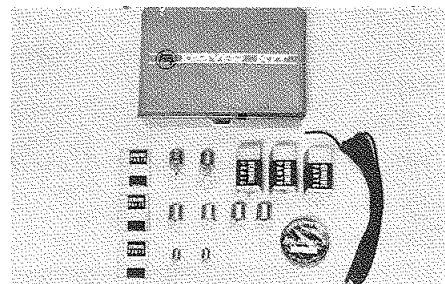
《注意》

車両に電気を使用するアクセサリを追加、あるいは車両の配線（ワイヤー・ハーネス）を修理される場合はつぎのことからご注意ください。

1. 既設の配線（ワイヤー・ハーネス）に容量以上の負担がかかっていないか。
2. ヒューズを通していないか。
3. 接続は安全か。
4. 裸線の接続部分は必ずハンダ付けをし、絶縁テープで充分被うこと。

5. 配線が車体と触れあう場合は電線の保護を充分行い、振動でたるみやショートが起きないようにしておくこと。

□オーナー・ドライバー・キット



電球、ヒューズ等の消耗品または応急用品が専用ケースに納めてあります。

構成部品

フロント・ターン・シグナル・ランプおよびテール・アンド・ストップ・ランプ
・バルブ

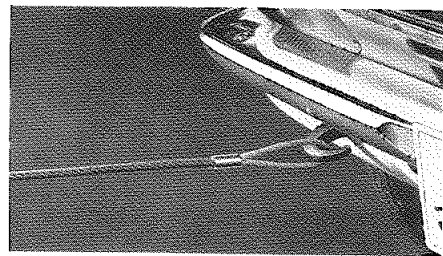
23/8W 2個
無断複製禁止

バック・アップ・ランプ・バルブ	23W 2個
ライセンス・ランプ・バルブ	8W 2個
サイド・ターン・シグナル・ランプ・バルブ	7.5W 2個
パーキング・ランプ・バルブ	3.4W 4個
予備	6W 2個
	10W 2個
ヒューズ (20A, 15A, 5A)	各 5個
絶縁テープ	1個
配線用コード	3m

懐中電灯

夜間の万一の故障になくてはならないものです。

エマー・ロープ



けん引, その他に利用できるビニール被覆のワイヤー・ロープで白旗もセットになっています。

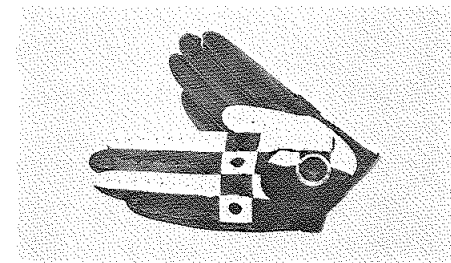
エマー・フラッグ

故障の場合は, 他の交通の邪魔にならない場所において, エマー・フラッグを用いましょう。

アクセサリ類のご紹介

安全で, より快適な運転をお楽しみいただけるように, トヨタ自動車では, トヨタ・ペット・コロナ・MARK II 1900 ハードトップ GSS につく, いろいろな注武装備品や保護部品を用意しております。ご入用の際は, コロナ・MARK II 1900 ハードトップ GSS 取扱い店にお気軽にご相談ください。

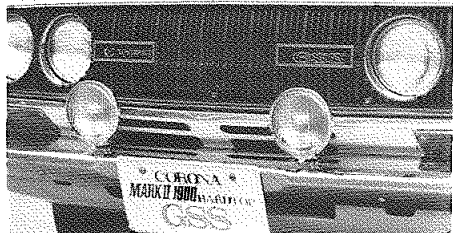
ドライバー・グローブ



ハンドルのすべり止めと, 手の保護にもなります。手にぴったりとしていますので運転操作は楽でスポーツ・ムードも得られます。

小牛革製とセーム皮製があり, 夏には暑さを感じさせない指なしなど, 各季節用にいろいろそろえてあります。

マーカー・ランプ



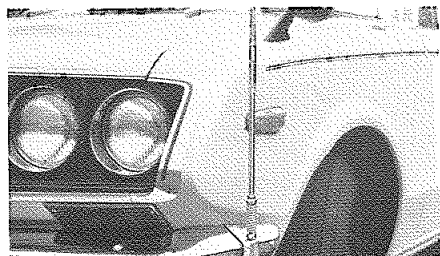
黄色いランプで、波長が長く、平行な光線なので、薄暮、濃霧時および山間走行する場合に効果を発揮し安全な運転ができます。

＜注意＞

マーカー・ランプを取り付ける場合つきごのことに注意してください。

1. マーカー・ランプは同時に3個以上点灯しないこと。
2. マーカー・ランプの主光軸は30m以上、先の地面を照らさないこと。
3. 取り付け位置はヘッド・ランプより低い位置であること。

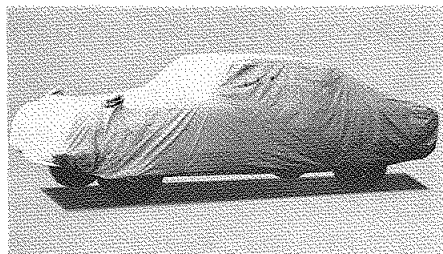
③ネオン・コントロール・ランプ



先端にランプが付き車幅の確認を助け、

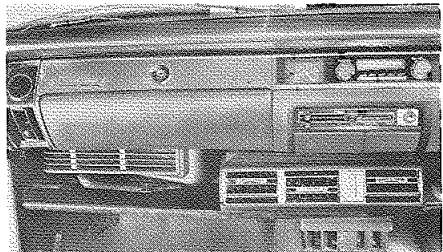
狭い道路走行、車庫入れ等を助けます。

④カー・カバー



屋外駐車用の全面カバーで、テトロン製ナイロン製とビニロン製があります。

⑤カー・クーラー



カー・エア・コンデショナーを取り付けられますので快適なドライブを楽しめます。

⑥デフォグガー

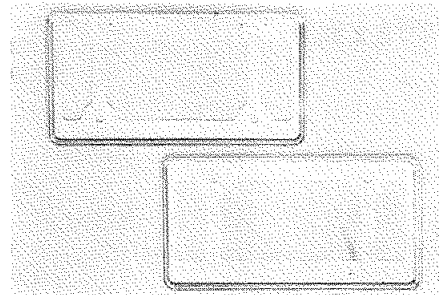


冬の雨天走行時でも、リヤ・ウインドウがくもることなく後方の視界が妨げられませんので安全です。

⑦タイヤ・チェーン

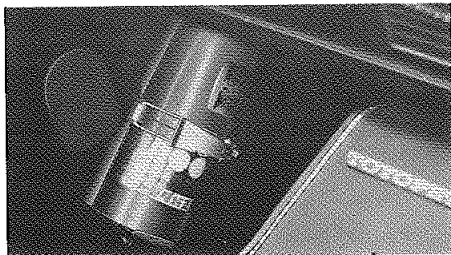
積雪時の走行には必需品で、スリップ止めとなり大きな駆動力が得られます。

⑧ナンバー・フレーム



ナンバー・プレート保護のクローム・メッキわくでフロント用とリヤ用があります。

消火器



事故のときなどの車両火災の初期に迅速な消火ができます。

又、炭酸ガス加圧式の粉末消火器ですので車両のみにかかわらず何の消火にも使用できます。

法令の知識

CORONA MARK II 1900 HARDTOP GSS

自動車をご使用のかたには、法律（道路運送車両法）によりいろいろなことが義務づけられていますが、そのうちつぎにあげたことからは安全上特に関連の深いことですから注意してください。

1. ユーザーは自動車の構造、装置等が運輸令に合ったものでなければ運転できない。（マフラーを改造した車両、バンパーを取り外した車両、保安炎筒を持たない車両等。）
2. ユーザーは1日1回出発前に省令で定められた方法で自動車を点検しなければならない。（仕業点検）
3. ユーザーは一般に6ヶ月ごとに省令で定められた基準にしたがって、自動車を点検（不良個所を発見したら整備しなければならない。また点検または整備をした上定期点検記録簿に記載し、1年間

保管しなければならない。

4. 一般に乗用車は2年、貨物車は1年ごとに陸運局長または指定整備事業者の行なう検査を受けなければならない。
5. 一般ユーザーが車の重要な部分を自分で分解した場合は、15日以内に陸運局長の検査を受けなければならない。